

速門
51
卷

明治三十六年
九月十一日
講求

象本藤

序一

好文

△山津

舟のまじれ付者履の中に猪色みきりふ

深氏乃白梅河を揚ぐ小枝小葉とる名いも枝い栗

舟の初めいと現く事に唯れを留入まづその

花軍倍り傳へて今の世までも後人れを紙慰ふ終と

かりぬ微小なる世れ人を友とて淋りぬまよりの

舟の平家と記してけりぬ世れを紙慰ふ終と

申改

招乃控換風流の扇子軍とほ巻とて今初
十冊長閑なる春れ日乃懸草と人さほ乃
清求めぬあづらん事を彩り而也

享保十四酉の

年れ始

作者其碩



作者自笑



清伽平家

一之巻

目錄

第一 女房の法師小色紙摺けと祝

合紙拵て廊に花を打てはる男舞

顔宍より情が極教文の女房れ寫紙

白拍子の舞扇しん舞されよん返答

第二

目を見て志成切艾さくは強ひて
自の威えども本およさぬまある花
あはれふ咲かれた草蒲似てや
交幸に後よりいあがれまの力後女房

第三

自の乃ふ氣骨と織物なは生け物氣
編み物作の尾を足せぬおれの子ま
脈の状に後乃くくう勞まれぬ根
足才れ娘のまにかと奥の乃乃ま雨

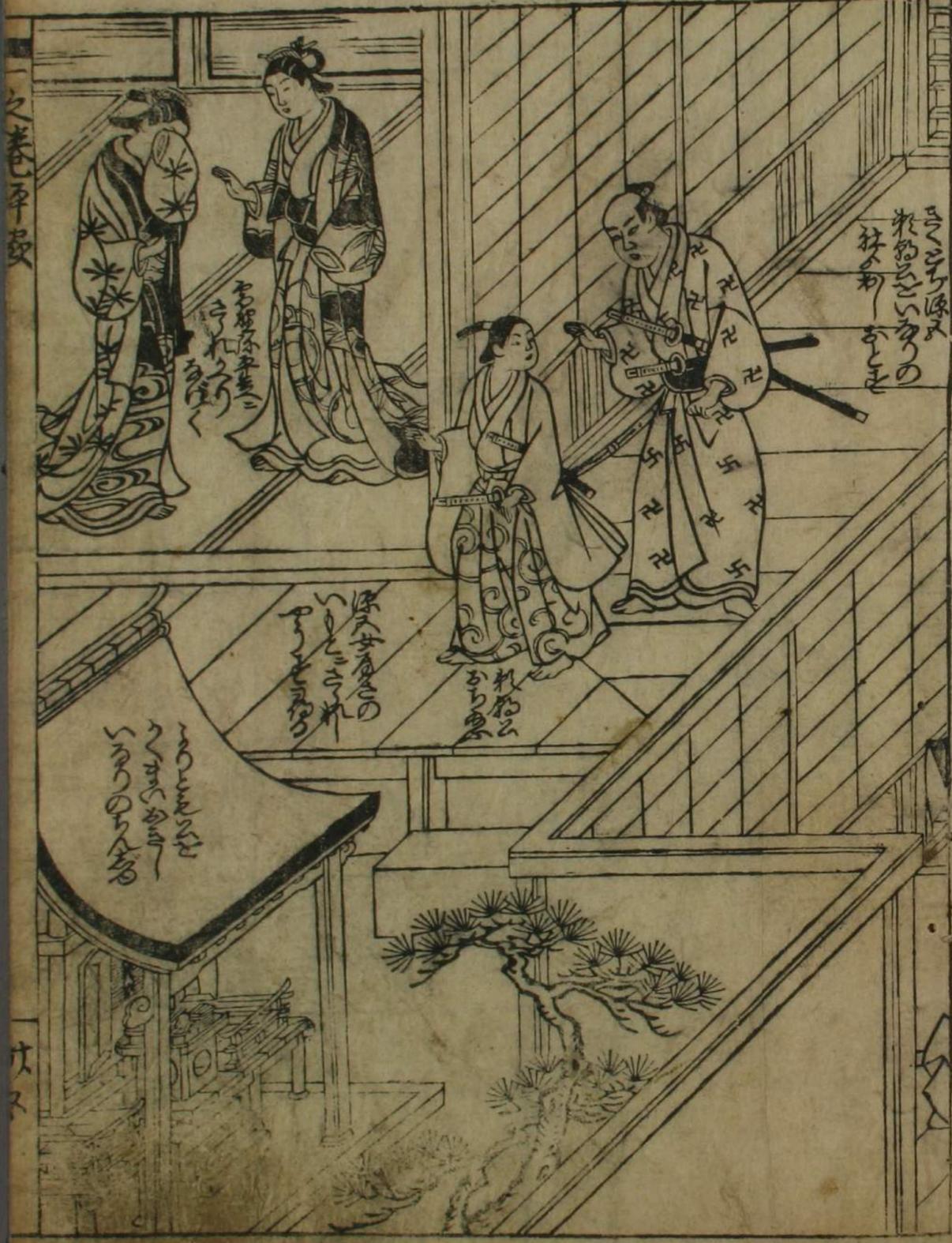
一 女帝の絵師より紙摺は現

祇園精舎の待れお法行を帝の宮あり。所住双樹
の花乃き。普賢心必無の相とありと。春ねらもの久
かず。程とく人もさよの威びぬ後一人君の栄耀ハ
同家の巻と。白岳易が化り。富貴の事なれおと。杜
南がついもあつりあるるか。清和源氏の門葉世々
傳り。日かに武名を輝され。源の家も電の威や
ぬん。保ええの事他院の由係報よふ。六条の
判友乃義。何く子息八人。死刑にけられぬ。後
たうた義朝。長ぐりにぬまいて。源家の武威との
づう。芥子。平家の日ふたづい。繁栄と。義朝を



こののま女づねを身とわく字せて相成ゆつらる中らにさしあ
毛延寿よまらさうや中ける昭若こつる人そ身の容と程を
法師は賄賂せざるゆへ毛延寿等と偽りあさるまらゆつて相
金の賣つつらむれや。後中のかさゆてそあれたる意事よく身とを
四二門へ移れはまねよる。そのはけあて。卒忽。吟言。基にわ
す。我。画。工。の。身。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
と。安。寧。の。と。こ。す。四。支。村。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
等。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
何れがふれれども。其。体。の。色。う。ら。ぶ。さ。く。写。す。よ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
あ。り。の。身。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
使。の。こ。四。支。村。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子

とふとてされば我身の姿はかく。其の由目あり。行はれむ。び。里。お
ご。あ。り。の。身。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
等。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
鼻。の。か。た。め。え。ま。ま。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
悪。い。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
と。ま。ま。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
身。を。と。れ。麻。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
と。ま。ま。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
の。身。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
と。ま。ま。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
は。身。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子
た。ま。ま。と。い。つ。た。程。年。年。あ。り。四。枝。村。と。い。つ。た。妻。子



之巻七早段

いづれか
くまひか
いづれか

いづれか
くまひか
いづれか

いづれか
くまひか
いづれか

いづれか
くまひか
いづれか

ハス



いづれか
くまひか
いづれか

